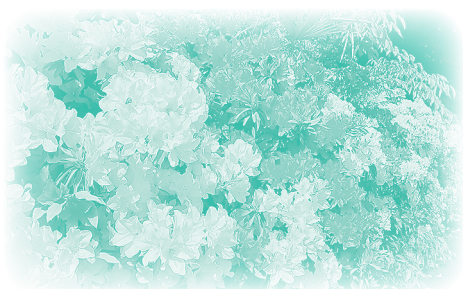


# いしのまき

No.  
89

## 市議会だより

令和8年5月20日発行



### 4年間

### ありがとうございました!

令和8年度予算可決 .....	2
第1回定例会 .....	3
常任委員長報告 .....	5
施政方針に対する質疑 .....	7
17人が一般質問で市政を問う .....	11
第1回臨時会 .....	18



石巻市議会議員

# 令和8年度予算 可決

「財政調整基金繰入金の抑制」「徹底した行財政改革の推進」  
「厳選した事業の推進」の3つの方針を掲げた予算編成

対前年度比 3・2%増

当初予算 総額 1360億円

一般会計 812・3億円  
対前年度比 5・9%増

45・1億円増

総会計 1360・0億円

対前年度比 3・2%増

42・4億円増

本市の財政状況は、令和6年度決算の経常収支比率が3年ぶりに100%を下回りました。しかし、経常収支比率は依然として高い水準にあり、財政の硬直化が常態化しつつあります。歳入面では人口減少に伴い、市税や地方交付税の増加は見込めず、歳出面では社会保障経費や公共施設の維持管理、老朽化対策経費や増額のほか、人件費の上昇や物価高騰などにより、かつてない厳しい財政状況に直面しています。

このような状況を踏まえ、令和8年度の当初予算編成に当たっては、「財政基盤の強化」と「事業の推進」の両立を基本方針とし、「財政調整基金繰入金の抑制」「徹底した行財政改革の推進」「厳選した事業の推進」の3つの方針を掲げました。厳しい財政状況に対応できるように、一般財源の削減目標額を提示し予算編成を行いました。

市税は、対前年度比0・4%増の196・6億円、地方交付税は、対前年度比2・5%増の192・7億円、国庫支出金は、対前年度比0・2%減の104・4億円、県支出金は、対前年度比1・1%増の52・0億円、繰入金は、対前年度比1・5%減の80・1億円、市債は、対前年度比76・1%増の57・7億円です。

## 歳入

義務的経費は、職員定員適正化計画に基づく職員数の削減や人員配置の見直しなどによる減額、自立支援給付費、私立認可保育所等運営費、借換分元金の増加等により、対前年度比4・0%増の362・4億円です。

## 歳出

投資的経費は、蛇田中学校校舎改修事業費が減少するものの、学校給食センター建設事業費、前谷地小学校屋内運動場改築事業費、(仮称)桃生こども園整備事業費の皆増などにより、対前年度比40・6%増の62・4億円です。

業費が減少するものの、学校給食センター建設事業費、前谷地小学校屋内運動場改築事業費、(仮称)桃生こども園整備事業費の皆増などにより、対前年度比40・6%増の62・4億円です。

# 令和8年度各種会計予算のあらまし

会計区分	予算額 (千円)	対前年度比 (%)
一般会計	81,230,000	5.9
復旧復興分	274,136	▲44.8
通常分	80,955,864	6.2
特別会計	35,039,511	1.2
水産物地方卸売市場事業	387,509	1.8
国民健康保険事業	15,732,513	▲1.8
後期高齢者医療	2,840,293	19.0
介護保険事業	16,079,196	1.6
公営企業会計	19,735,422	▲3.4
病院事業	6,172,163	▲1.9
下水道事業	13,563,259	▲4.1
合計	136,004,933	3.2



遠藤宏昭議長

# 令和8年 第1回定例会

2月10日から3月19日までの38日間の日程で開催し、市長提出議案48件、陳情1件、委員会提出議案1件、議案案1件を審議した結果、すべて原案のとおり可決しました。

## 提出された議案と審議結果



## 条例 (原案可決)

- 石巻市債権管理条例
- 石巻市電源立地促進対策交付金事業基金条例を廃止する条例
- 石巻市新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金基金条例を廃止する条例
- 石巻市桃生農業者体験実習館条例を廃止する条例
- 石巻市組織条例の一部を改正する条例
- 石巻市行政手続条例の一部を改正する条例
- 石巻市牡鹿地区市民バスの運行に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 石巻市手数料条例の一部を改正する条例
- 石巻市学びサポートセンター条例の一部を改正する条例
- 石巻市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市廃棄物処理施設条例の一部を改正する条例
- 石巻市森林等における火入れの規制に関する条例の一部を改正する条例
- 石巻市企業立地等促進条例の一部を改正する条例
- 石巻市都市公園条例の一部を改正する条例
- 石巻市道路占用料条例等の一部を改正する条例

## 予算 (原案可決)

- 石巻市営住宅条例の一部を改正する条例
- 石巻市介護保険条例の一部を改正する条例
- 石巻市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
- 令和8年度石巻市一般会計予算
- 令和8年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計予算
- 令和8年度石巻市国民健康保険事業特別会計予算
- 令和8年度石巻市後期高齢者医療特別会計予算
- 令和8年度石巻市介護保険事業特別会計予算
- 令和8年度石巻市病院事業会計予算
- 令和8年度石巻市下水道事業会計予算
- 令和7年度石巻市一般会計補正予算(第7号)
- 令和7年度石巻市水産物地方卸売市場事業特別会計補正予算(第2号)
- 令和7年度石巻市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)
- 令和7年度石巻市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)
- 令和7年度石巻市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)
- 令和7年度石巻市病院事業会計補正予算(第4号)
- 令和7年度石巻市下水道事業会計補正予算(第3号)
- 令和8年度石巻市一般会計補正予算(第1号)

## その他 (原案可決)

- 陳情
- (視覚障害者の日常生活上の補助用品の入手に係る公的支援に関する要望書)
- 石巻市過疎地域持続的発展計画の策定について
- 指定管理者の指定について
- (石巻市雄勝体育施設)
- (石巻市上釜ふれあい広場)
- 財産の無償貸付けについて
- 工事請負の契約締結について
- (魚町水産加工共同排水処理施設更新(その2)工事)

## 人事 (同意・異議がない)

- (新山漁港防波堤改良工事)
- (中浦橋橋梁補修工事)
- 工事請負契約の一部変更について
- (牡鹿保健福祉センター空調・換気設備改修工事)
- (前谷地小学校屋内運動場改築工事)
- (蛇田中学校校長寿命命化改修その他工事)
- 市道路線の認定について
- 副市長を選任するにつき同意を求めることについて
- ↓渡邊伸彦氏、工藤均氏を選任することについて
- 教育委員会委員を選任するにつき同意を求めることについて
- ↓大和千恵氏を選任することについて
- 人権擁護委員候補者を推薦するにつき意見を求めることについて
- ↓内海聡氏、鈴木信幸氏、杉山喜美子氏、佐々木芳美氏を推薦することについて

## 委員会提出議案 (原案可決)

- 石巻市議会委員会条例の一部を改正する条例

## 議案 (原案可決)

- 12番佐藤雄一議員に対する問責決議の提出について



西條正昭副議長

# 第1回定例会で可決した議案の中から主な内容を紹介します

## 可決した条例から

### ◆石巻市債権管理条例

厳しい財政状況にある本市にとって、未収金の解消が喫緊の課題となっているとともに、行政サービスを利用する市民間の受益と負担の公平確保にも支障が生じていることから、債権回収の一層の強化を図るほか、将来的に回収が見込まれない債権について円滑な放棄を可能にすることにより、債権管理事務の効率化を図るため、本条例を制定するもの。

### ◆石巻市行政手続条例の一部を改正する条例

デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の公布に伴い、行政手続法が改正されたことを踏まえ、本条例の聴聞の通知に係る公示方法の見直しを行うとともに、併せて文言整理等の所要の改正を行うため、本条例の一部を改正するもの。

### ◆石巻市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」が令和6年6月に公布され、国民健康保険税において、保険税と合わせて被保険者から「子ども・子育て支援金」を徴収し、保険者は支援納付金として国に納付する義務を負うことが定められたことに伴い、本条例の一部を改正するもの。

### ◆石巻市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の一部を改正する条例

系統用蓄電池を設置する事業について、騒音、景観、安全性などに関する周辺住民への安全性が危惧されることから、事業者の責務や事業の抑制区域等を定め、事業着手前の住民説明会の開催や市との協議、事業完了後の発電設備の撤去、原状回復等を義務化するため、本条例の一部を改正するもの。

## 可決した補正予算から

令和7年度石巻市一般会計補正予算（第7号）は、国の第1次補正予算に基づき内示のあった「社会資本整備総合交付金事業」や、「災害公営住宅家賃対策事業」などを措置したほか、各種事業の執行見込みに基づく事業費の予算整理及び各種特別会計への繰出金や国県補助金等の確定に伴う予算整理を併せて行ったもの。（45億664万6千円の増額）

令和8年度石巻市一般会計補正予算（第1号）は、政府の「『強い経済』を実現する総合経済対策」に基づき、物価高騰の影響を受けている子育て世帯や水産加工業者への支援に要する経費を措置したもの。（2億1,352万円の増額）

### ◆総務費では

- ・民間事業者が運航する離島航路の維持および経営支援補助金の確定による増額 1億6,514万円

### ◆民生費では

- ・本市の国支給分に係る「物価高対応子育て応援手当」の対象となった子育て世帯に対し、子ども1人当たり1万円を支給する本市独自の「物価高対応子育て応援手当」の支給に要する経費 1億6,850万円

### ◆農林水産業費では

- ・県が実施する水産物供給基盤機能保全事業等に係る国の第1次補正予算に伴う負担金の増額 4,875万円

### ◆商工費では

- ・不足が見込まれる保証料補給金の増額および金額確定による損失補償金の増額 2,330万円

### ◆土木費では

- ・国の第1次補正予算に伴う避難路整備事業費の予算措置 2億1,100万円

## 常任委員長報告

2月26日から3月2日の本会議で、条例や予算などの議案が所管の常任委員会に付託され審査が行われました。審議の結果、すべての議案について可決すべきものと決し、3月19日の本会議で各常任委員長が報告しました。その要旨を紹介します。

## 総務企画委員会



山口 荘一郎 委員長

### 石巻市債権管理条例

**Q** 債権の一元管理について伺う。

**A** 現在の納税課を収納推進課に名称変更し、生活再建支援室が所管している災害援護資金貸付金の徴収業務を収納推進課に集約し、訴訟手続き等の専門的な知識等を蓄積していくことで、今後、各課が管理している債権について、段階的に一元管理を進めていきたい。

**Q** 今後の債権回収の取り組みについて伺う。

**A** 毎年度、収納率の目標、滞納処分件数や収納率向上に向けた取り組み等を位置付けた徴収計画を策定し、行財政改革推進本部で進捗管理を行い、取り組み成果の検証、改善により、計画的かつ適正に債権回収に取り組んでいきたい。

### 令和8年度石巻市一般会計予算

**Q** 庁議のデジタル化の内容について伺う。

**A** リモート会議により総合支所長のオンラインでの参加や、資料のデジタル化等を段階的に進めていく計画である。

**Q** 結婚につながるような今後の支援について伺う。

**A** 年々婚姻数は減少しており、本市の恋活、婚活事業も開催団体、参加者ともに少ない状況である。そのため、同窓会への補助金や若い方々が集まる場への支援など、結婚したい方にしつかり支援が届くように検討していきたい。

**Q** 震災遺構レーザー計測業務の内容について伺う。

**A** 震災遺構大川小学校では、タイル壁面の剥離など、劣化が進んでいるため、ドローンを活用したレーザー計測により、目視では確認が難しい傾きや剥離状況などを把握し、施設の破損を未然に防ぐための業務である。

## 環境教育委員会



千葉 正幸 委員長

### 石巻市学びサポートセンター条例の一部を改正する条例

**Q** 新たに開設する住吉学びサポートセンターの施設の機能面で特筆すべき点について伺う。

**A** 向陽学びサポートセンターと比較して園庭が広く、ホールもあるので活用の幅が広がる。

**Q** 職員数について伺う。

**A** 試行運用期間である今年度は向陽学びサポートセンター9名、住吉学びサポートセンター3名で運用できたことから、来年度もこの人数で運用していきたい。

### 石巻市都市公園条例の一部を改正する条例

**Q** 石巻市民球場へのスピードメーター設置による電子掲示板使用料の増額を踏まえ、他自治体の類似施設の使用料の状況について伺う。

**A** 仙台市は1時間当たり800円から1200円に増額、名取市では使用料は徴収していない。

### 令和8年度石巻市一般会計予算

**Q** 石巻斎場空調設備改修工事費の内容について伺う。

**A** 空調設備は設置から35年経過しており、これまで1つの空調で全館の冷暖房を担っていたが、トラブルも多く、故障の際に全ての部屋の冷暖房が停止する危険性を踏まえ、ホールや収骨室、各待合室に空調を設置する。

**Q** 学力向上推進事業費の内訳について伺う。

**A** 学力向上推進プランに関する研修会の講師謝礼金のほか、標準学力調査の採点、問題作成の委託料ならびにアプリのライセンス使用料である。

**Q** 学力調査業務委託料が増額になった理由について伺う。

**A** 本年度までは小学校の国語、算数および中学校の国語、数学の標準学力テストを実施していたが、授業改善を図るため、来年度は小学校4年生以上で理科、社会を追加して実施するため増額となった。

**Q** 学校施設整備保全計画と総合計画実施計画との整合性について伺う。

**A** 財政面での制約から学校施設整備の整備が後ろ倒しになっているケースが出てきており、児童・生徒の安全・安心を第一に考え、教育環境に支障を来す場合は来年度当初予算で対応してまいりたい。

## 保健福祉委員会



鈴木良広 委員長

石巻市国民健康保険条例の一部を改正する条例

**Q** 制度改正の背景と市民への影響について伺う。

**A** 子ども・子育て支援金制度に係る子ども・子育て支援法等の一部改正に伴った令和8年4月1日施行の地方税法の改正に併せて本条例を改正するものである。

それにより、国民健康保険加入者から、児童手当、妊婦のための支援給付及び子ども誰でも通園制度等の拡充に充てる、子ども・子育て支援金を国民健康保険税と併せて徴収することになる。

令和8年度石巻市一般会計予算

**Q** ささえあいセンター駐車場の満車が見込まれる際の本庁舎立体駐車場との連携について伺う。

**A** 現在は、ささえあいセンターの駐車可能台数が40台程度であることを理解した上での利用をお願いしており、本庁舎立体駐車場との連

携は難しいが、今後もささえあいセンターが利用しやすいよう適正な管理に努めていきたい。

**Q** 健康づくりパーク管理費の施設維持管理等業務委託料の内容について伺う。

**A** 渡波地区、河北地区、雄勝地区、北上地区および牡鹿地区の5か所の芝やトイレの管理を地域の方々に委託しており、委託料にはトイレトーパー等の必要な消耗品費も含まれている。

**Q** 共助型復興公営住宅の現状の課題および支援員配置による成果について伺う。

**A** 入居者の高齢化により、見守る方よりも見守られる方のほうが多く、支え合いの難しさが課題となっているが、支援員の配置によって入居者が相談できるなど一定の満足感は得られている。

**Q** 扶助費の半分以上を占める医療扶助費の抑制方法について伺う。

**A** 同じ病気で複数の医療機関に1冊にまとめ、薬の重複処方がないことへの指導に加え、医療給付は嘱託医が必要と判断する場合以外は行わないよう対応していきたい。

## 産業建設委員会



星雅俊 委員長

石巻市企業立地等促進条例の一部を改正する条例

**Q** 条例改正の目的について伺う。

**A** 新たな助成金の創設による民有地の取得促進、また、若者の定住を見据えた娯楽業や小売業の立地および生成AI等の進展に伴う情報通信産業の立地に向けて、既存の助成制度の拡充を図るためである。

令和8年度石巻市一般会計予算

**Q** 合併処理浄化槽設置補助事業費の予算増額理由について伺う。

**A** 浄化槽等設置整備事業費補助金において、下水道区域の見直しによって一時的に公共下水道事業認可区域となる部分を、認可区域の変更が完了するまで補助対象として見込むこと、また、令和8年度からの補助制度拡充により申請件数の増加が見込まれることから予算を増額している。

**Q** 日本遺産活用推進事業の今後の進め方について伺う。

**A** 日本遺産というブランドを最大限活用し、みちのくGOLD浪漫の金にまつわる文化や歴史を、平泉町や涌谷町など、広域的なエリアで関連づけながら、観光コースの構築や情報発信に取り組んでいきたい。

**Q** 石巻駅前広場施設維持管理等業務委託料の内容および委託先について伺う。

**A** 石巻駅前広場やトイレなどの施設維持管理や樹木管理のほか、あゆみ野駅トイレの防犯カメラ警備、前谷地駅、鹿又駅、和瀨駅、曾波駅の広場やトイレの維持管理を行うなど、12業務を計画している。

また、12業務の委託先については、清掃業務をシルバー人材センター等に委託するなど、それぞれの業務に適した資格を持つ事業者へ広く委託していきたい。

**Q** 市営住宅管理費の予算増額理由について伺う。

**A** 市営住宅から復興公営住宅への移転完了後に実施する市営住宅解体撤去工事において、令和7年度の解体戸数25戸に対し、令和8年度は112戸の解体を予定していることから、予算を増額している。

# ～会派代表質疑～

## 施政方針をたず

第1回定例会の初日、齋藤市長による施政方針演説があり、各会派の代表者が施政方針に対する質疑を行いました。その中から、いくつかの質疑と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質疑を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

## 施政方針要旨

- 1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち
- 2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち
- 3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち
- 4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち
- 5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち
- 6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち



齋藤正美市長

会派代表質疑の様子は、2次元コードから録画映像をご覧になれます。

## 施政方針に対する質疑通告一覧（質疑順）

会派名	代表者名	質疑事項	
ニュー石巻	奥山 浩幸	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市政運営について</li> <li>2 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまちについて</li> <li>3 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまちについて</li> <li>4 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまちについて</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまちについて</li> <li>6 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまちについて</li> <li>7 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまちについて</li> <li>8 予算編成及び組織機構の見直しについて</li> <li>9 令和8年度に向けての決意について</li> </ol>
石巻颯の会	後藤 兼位	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 市長の政治姿勢について</li> <li>2 「住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち」について</li> <li>3 「都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち」について</li> <li>4 「共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち」について</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5 「多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち」について</li> <li>6 「豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち」について</li> <li>7 「市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち」について</li> <li>8 予算編成について</li> </ol>
日高見会	阿部 和芳	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめに</li> <li>2 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち</li> <li>3 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち</li> <li>4 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>5 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち</li> <li>6 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち</li> <li>7 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまち</li> <li>8 結び</li> </ol>
公明会	渡辺 拓朗	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 はじめに                             <ol style="list-style-type: none"> <li>①本市を取り巻く環境の現状</li> <li>②主な取組実績</li> <li>③世界や国内を巡る情勢等、時代の潮流を的確に捉えて目指す「石巻ビジョン」</li> </ol> </li> <li>2 総合計画基本計画施策体系ごとの取組について                             <ol style="list-style-type: none"> <li>①住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまち</li> <li>②都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>③共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち</li> <li>④多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまち</li> <li>⑤豊かな心を育みいのちを未来につなぐまち</li> <li>3 結び                             <ol style="list-style-type: none"> <li>①予算編成</li> <li>②組織機構の見直し</li> <li>③令和8年度に向けた決意</li> </ol> </li> </ol>
石巻あかつきの会	木村 美輝	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市を取り巻く環境の現状について</li> <li>2 主な取組実績について</li> <li>3 世界や国内をめぐる情勢等、時代の潮流を的確に捉えて目指す「石巻のビジョン」について</li> <li>4 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまちについて</li> <li>5 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまちについて</li> <li>6 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまちについて</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>7 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまちについて</li> <li>8 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまちについて</li> <li>9 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまちについて</li> <li>10 予算編成について</li> <li>11 組織機構の見直しについて</li> <li>12 令和8年度に向けての決意について</li> </ol>
石巻市民クラブ	大森 秀一	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民同士の絆・支え合いで安全安心に暮らせるまちについて</li> <li>2 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまちについて</li> <li>3 共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまちについて</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>4 多彩な人材が活躍し誇りと活気にあふれるまちについて</li> <li>5 豊かな心を育みいのちを未来につなぐまちについて</li> <li>6 市民の声が共鳴し市民と行政が共に創るまちについて</li> <li>7 令和8年度市政運営の決意について</li> </ol>



ニユー石巻(会長)  
奥山浩幸 議員



災害情報発信事業について

問 防災行政無線が屋内で聞こえにくいという課題に対し、具体的な対策を伺う。

答 メール、LINEなどの一斉配信システムや、防災行政無線テレフォンサービスに加え、令和8年度に多言語による文字と音声で防災行政無線の放送内容を配信する「スマートフォンアプリ」を導入する。

学校再編計画の推進について

問 少子化の進行に伴い、学校規模の適正化や教育環境の充実を図る上で、学校統廃合を含む学区再編は避けて通れない課題である。学校再編計画の推進に当たり、どのような手法で把握し計画に反映してきたのか伺う。

答 P T Aや学区運営協議会、地区行政委員、未就学施設に通う保護者等を対象に意見交換会を開催し、学校の在り方について広く意見を伺い、計画の推進に努めている。

財政調整基金について

問 昨今の予算編成において基金からの取り崩しが常態化している懸念がある。基金の取り崩しに頼らない「身の丈に合った財政運営」について伺う。

答 標準財政規模に対する財政調整基金残高の5%以上の維持を目標に、歳入に見合った歳出規模となるよう歳出削減に努める。

市民サービスの水準維持について

問 行財政改革を徹底し、事業を絞り込む中で、市民からは「必要なサービスまで削られるのではないか」という不安の声がある。サービス低下を防ぐ留意点を伺う。

答 市民生活に影響を及ぼす事業を最優先に、その効率・効果・有効性を十分に検討し、行政の担うべき役割を明確化しながら、市民サービスの水準を将来にわたり安定的に提供していく。

令和8年度に向けた決意について

問 行政改革は、時に市民や組織内の反発を招くもの。過去の慣例を打ち破るリーダーシップは不可欠である。たとえ反対の声があっても、石巻の未来のために「止めるべきは止める」という断行の決意があるのか。

答 本市の未来をより輝きのある豊かなものに築いていくことが使命である。不退転の決意と強い覚悟を持って行財政改革に取り組み。

公共施設の統廃合や行政サービスの再編など、市民に痛みを伴う決断が迫っていると示唆する。「理解」を得るだけでなく、市民の「共感」を得るには、市長自らが現場に立ち、真摯に語りかける姿勢が求められるが決意を伺う。

答 将来を見据えた改革には、市民の皆様にご負担やご不便をお願いせざるを得ないことも事実。「ふるさと石巻」を確かな将来へつなぐため、強い決意で臨む。



石巻<sup>はて</sup>の会(会長)  
後藤兼位 議員



政治姿勢

問 主要施策の具体化と実効性向上に向けた取り組み状況は。

答 D X・G X、人材育成、人口減少対策、財政運営の実効性向上に向け、計画的な進捗管理と効果検証を重視し、施策の具体化と見直しを進めている。

安心移住と地域防災

問 安心移住定住の実績を踏まえ、防災力向上と今後の支援方針は。

答 移住相談で5組7名が移住し、今後8組11名が検討中。地区防災計画は実効性を重視し、支援を継続する。

環境と防災

問 環境・防災・交通・港湾施策の効果と展望を伺う。

答 環境教育や水質改善、3 R推進、防災・交通・港湾整備を通じ、快適でやさしさのあるまちづくりを進めている。

医療連携

問 医療局構想や地域医療連携、共生型ケア事業の位置付けと今後の展望を伺う。

答 医療局構想は令和9年度に検討し、牡鹿医療センターは連携強化、共生型ケア事業は牡鹿地区で継続・周知を図る。

観光と陸上養殖の地域戦略

問 産業政策の目標、各分野の施策成果、企業誘致・人材育成策を伺う。

答 労働力確保と生産性向上を軸に産業転換を進め、陸上養殖の成長産業化や産学官金連携による雇用創出、日本遺産を活用した観光振興で地域定着と交流拡大を図る方針。

学校再編と楽天2軍誘致

問 学校統廃合、学力・防災教育、人材確保、生涯スポーツと楽天2軍誘致方針を伺う。

答 学区再編の前倒し検討と教育環境整備を進めつつ、家庭学習・防災教育の充実や地域人材との協働を図り、楽天2軍誘致による地域活性化も見据え、今後の動向を注視している。

回さない窓口

問 「回さない窓口」構築と、ふるさと納税の戦略強化・使途の見える化が必要では。

答 窓口D Xでたらい回し防止を検討。ふるさと納税は層別戦略と成果の見える化で信頼と支援継続を図る。

予算編成

問 財政需要増への対応方針、事業選択、将来世代視点、市民参加、施設再編の見解を伺う。

答 人口減少と財政需要増に対応するため、事業の選択と集中を進めつつ、将来世代の視点を踏まえた政策評価、市民参加の拡充、公共施設再編の実効性向上に取り組む方針。



日高見会(幹事長)  
阿部 和 芳 議員



**問** 後期の総合計画基本計画4つの重要施策の柱のうち「教育環境の充実」「稼ぐ地域づくり」の具体的事業の内容と時期について伺う。

**答** 第II期推進期間に入った「学力向上プラン」を確実に推進する。「稼ぐ地域づくり」は6次産業化の推進や陸上養殖への支援、有機農業の推進、観光PR活動による誘客の推進、企業立地促進に取り組むなど競争力を強化する。

**問** 教育環境の充実について、当市でも「学習塾等支援事業」を実施できないか伺う。

**答** 近隣自治体は、塾代のほかスポーツや習い事全般への支援を行っていると言っているが、本市とは児童生徒数などの規模が大きく異なることから、手法をそのまま導入することについては、課題が大きいと考えている。公費支出ではなく、「学校における放課後の学習支援を含むさまざまな活動の充実」や「端末を活用した思考ツールの導入による主体的な学びの推進」を重点的に取り組んでいく。

**問** 安心して暮らせる地域防災力などの向上について伺う。

**答** 地域における避難ルールづくりなどのソフト対策を講じた上で、必要な場合に地域の状況に応じた施設の整備などを住民と協議する。

**問** 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進について、寄磯浜・前網浜地区以外の避難道として脆弱な牧浜竹浜狐崎間、福貴浦小網倉間、蛤浜折浜小竹佐須浜間などの整備について伺う。

**答** 見通しの悪い区間の支障木伐採による視距の確保や待機場所の確保など対応可能な方策を検討し実施する。

**問** 安心して妊娠・出産・子育てができる環境の充実について伺う。

**答** 妊娠期から子育てまで切れ目のない支援を継続し、安心して子どもを産み育てられる環境の充実に取り組む。

**問** 全世帯の3歳児までの保育料を無償化すべきでは。

**答** 現時点では、3歳児までの保育料無償化を実施することは難しいので、引き続き、国の動向の収集を継続していく。

**問** DX推進の中で、「おくやみコーナー」の設置を早期に実施すべきでは。

**答** 令和10年度からの運用開始を目標に定めるが、できる限り早期に方向性を決定する。

総合計画基本計画の取り組み

**問** 高齢社会の進展の中で、自助共助の取り組みとして軽度生活援助サービス事業のさらなる拡充のために利用者の拡大への課題を伺う。

**答** 受け手側のボランティアの拡大が必要である。本事業を広く周知するため、制度の対象となる方へ個別の周知と地域包括支援センターを通して利用を促している。

**問** 避難行動要支援者名簿への登録の漏れはないのか。また、個別避難計画への支援体制の状況は。

**答** 全て申請していただいていると認識しているが、新たな登録者に向けて制度の周知をする。災害時における地域の具体的な支援への検討が必要である。

**問** 国に決められている2030年までのCO2削減目標50%まで残り24%、達成への見通しは。

**答** 産業部門が滞っており、市内の事業者と脱炭素に関する連携協定を締結し、事業者の主体的な取り組みに対して積極的に支援する。

**問** ごみ有料化は減量の推進とさらなる有効利用の機運にもつながる。ごみ有料化への考えは。

**答** ごみ減量の推進と処理経費の増大に対応するため、いずれ導入が必要と考えている。



公明会(会長)  
渡辺 拓 朗 議員



**問** 医療、介護の提供のため、限界集落に住む高齢者が持ち家であっても市営住宅入居を希望する場合の対応を考える必要がある。所感を伺う。

**答** 公営住宅法上は難しいが、全国的な課題になっているので、国の動向を注視する。

**問** 医療ケアが必要な重度障がい者の18歳以降の方々の居場所が十分でない。これらの方々の生活介護施設の現状を伺う。

**答** 希望する生活介護の利用へつながっていると認識しているが、ご家族の希望通りにならないことから、丁寧に相談を受け、利用調整を行う。

**問** 少子化時代の適正な教育環境を創出する上で、学校の統廃合の推進にはスクールバスの運行が必須であるが、運行事業費をどのように捉えているのか。

**答** 5年間の期間限定で運行経費の国庫補助があるものの、本市の一般財源による負担が約94%と高く、財政上の課題になっているため、国に財政支援を強く要望する。

**問** 生成AIとの適切な向き合い方を推進する教育方針を伺う。

**答** 教員向けのガイドラインを策定し、保護者、児童・生徒に向けたガイドラインにおいても、最後は人間が判断し自ら責任を持つ方針を明確に示す。



石巻あかつきの会(会長)  
木村美輝 議員



**問** 令和8年度は、生活者支援と事業者支援をそれぞれの層・分野に重点化し、何をもって「効果があった」と判断するのか伺う。

**答** 各事業終了後に国が示す手順に沿って検証し、結果をホームページ等で公表する。

**問** 新ごみ処理施設の規模を再検討する方針を示され、今年よりプラ分別が始まる。市民1人当たりのごみの排出量の減量を図る仕組みが必要かと考える。市民と行政が一体となって取り組むべき課題であり、市民に対しての意識向上が重要と思うが、どのような仕掛けを講じていくのか伺う。

**答** 市民への周知・啓発について出前講座、市報やホームページの掲載に加え、LINEを活用したAIによる分別方法の案内、分別収集説明会の実施、学校との啓発連携を行う。

**問** 「6次産業化推進事業」のこれまでの実績と利用状況について伺う。

**答** 平成26年から令和6年まで新商品開発件数152件、販路拡大件数258件の実績となっており、支援事業者数として年間100者程度の利用状況となっている。

**問** 「中心市街地賑わい創出事業」として「空き地・空き店舗活用事業費補助金」があるが、これまでの利用状況と周知方法について伺う。

**答** 令和3年度から令和6年度までの実績は16件。ホームページの掲載や、商工会議所、石巻産業創造株式会社の窓口にリーフレットを設置、街なか出店サポートセンターにて周知している。

**問** 水産業界は多くの課題に直面している。関係自治体と連携しながら長期的な支援を求めていくとあるが、連携方法はどのように考えているのか伺う。

**答** 全国市議会議長会や特定第三種漁港市長協議会等の関係自治体と歩調を合わせ、国に対する継続的な要望活動など連携を図る。

**問** 観光PR事業について、SNSを活用し情報発信の充実とあるが、どのような媒体でターゲット層への情報発信を行っているのか伺う。

**答** 観光、物産、イベント情報を中心にインスタグラム、フェイスブック、LINEで発信している。インスタグラムのフォロワーは1万人以上有する場合はトップクラスの成果と言われ、現在9200人となっており、1万人を目指し情報発信に努める。



石巻市民クラブ(会長)  
大森秀一 議員



**問** 困難な問題を抱える女性への支援の取り組みについて伺う。

**答** 困難な状況にある女性が孤立することなく、安心して支援につながることをできるよう、相談窓口の周知徹底をはじめ、被害に遭われた方の安全確保を最優先とした相談・支援体制の充実を図る。

**問** プラスチック類の再資源化の具体的な取り組みについて伺う。

**答** 本市ではこれまで、ペットボトル以外のプラスチックは燃やせるごみとして収集し、焼却処理を行ってきたが、令和8年10月より、さらなるごみの減量化と資源循環を図るため、プラスチックの分別回収を行うことにより、一層のリサイクルの促進を図っていく。

**問** 避難道「県道釜谷・大須・雄勝線」の早期着工の呼びかけと取り組みについて伺う。

**答** 県知事や東部土木事務所に要望書を提出している区内の整備について、令和6年度2カ所、令和7年度に2カ所の拡幅工事が完了しており、令和8年度には1カ所の工事を予定している。今後も早期着工について、継続して要望していく。

**問** 陸上養殖の現在の状況と今後の取り組みについて伺う。

**答** 令和7年5月に、一般社団法人おしかの学校、宮城県水産高等学校、本市の三者間で連携協定を締結し、サバの陸上養殖の実証実験に取り組んでいる。引き続き、事業者の支援に努め、陸上養殖の推進を図っていく。

**問** 地域ぐるみで子どもを育てる教育活動について伺う。

**答** 市内全小中学校において、週27コマのカリキュラム編成により、各学校が放課後のさまざまな活動を工夫しながら、学習支援や本の読み聞かせ、伝統芸能の継承などを実施している。

**問** このまちに住むことに誇りを持つ諸施策の実践に向けた決意を伺う。

**答** 地域に誇りを持ち、豊かさを実感できる新たな価値観を育むためにも、限られた行財政資源を効果的に活用し、行政のみならず、市民、事業者、地域団体など多様な主体がそれぞれの役割を認識し、互いに支え合いながら、新たな取り組みにも果敢に挑戦していく必要がある。

# 一般質問

## 議員17人が登壇 市政を問う!

第1回定例会の一般質問は、17人の議員が市政全般にわたり市当局の見解をただし、政策提言を行いました。

その中から、いくつかの質問と答弁の要旨を紹介します。

なお、このコーナーは質問を行った議員自らが市当局の答弁に基づき、記事の編集を行っています。

一般質問の様子は、2次元コードから録画映像をご覧ください。

### 一般質問通告一覧(質問順)

<p>①原田 豊 (石巻あかつきの会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市立保育所の給食について</li> <li>2 国の機関の誘致について</li> <li>3 行政組織の横断的連携について</li> <li>4 スポーツを通じた交流人口の拡大について</li> </ol>	<p>⑩鈴木 良広 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 中心市街地の活性化策について</li> <li>2 がん対策について</li> </ol>
<p>②齋藤 澄子 (無党派)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校や公共施設への生理用品常備について</li> <li>2 女川原子力発電所について</li> <li>3 仙石線全区間ワンマン運転について</li> <li>4 仙台塩釜港の「特定利用港湾」について</li> </ol>	<p>⑪高橋 憲悦 (石巻市民クラブ)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 少子化・高齢化社会、人口減少を見据えた持続可能なまちづくりについて</li> </ol>
<p>③楯石 光弘 (日高見会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩み続けるためには</li> </ol>	<p>⑫櫻田 誠子 (公明会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 防災・減災について</li> <li>2 ひとり親支援策について</li> </ol>
<p>④山口 荘一郎 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 緊縮予算編成時代における持続可能な石巻市政について</li> </ol>	<p>⑬星 雅俊 (日高見会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 組織の見直しについて</li> <li>2 (仮称) 河南東保育園の設置運営事業者の選定について</li> <li>3 今後が懸念される行財政運営等について</li> </ol>
<p>⑤阿部 正敏 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東北楽天ゴールデンイーグルスファーム施設移転計画について</li> <li>2 石巻市立病院及び市立診療所財務状況について</li> <li>3 地区防災計画策定について</li> </ol>	<p>⑭宇都宮 弘和 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 東日本大震災から15年 本市の防災の取り組みと方向性について</li> <li>2 「通過される街」から「何度も関わりたくなる石巻」へ向けて</li> </ol>
<p>⑥勝又 和宣 (石巻あかつきの会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 宮城県宿泊税導入と石巻市観光戦略について</li> <li>2 低入札価格調査制度および総合評価落札方式について</li> <li>3 20年先を見据えたスクラップ・アンド・ビルドによる市政運営について</li> </ol>	<p>⑮谷 祐輔 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人口減少社会における地域拠点機能と行政運営の高度化について</li> <li>2 共生社会の実現に向けた障害者の社会参加と福祉教育の充実について</li> </ol>
<p>⑦丹野 清 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 市営住宅について</li> <li>2 民間保育について</li> <li>3 健康づくりパークの利用・運営状況について</li> </ol>	<p>⑯阿部 浩章 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安心して誇れる「生業」の構築・活性化について (地域循環型経済の構築に向けた考え方、方向性)</li> </ol>
<p>⑧我妻 久美子 (石巻風の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本市の少子化対策及び子育て支援について</li> <li>2 高齢者への支援について</li> </ol>	<p>⑰阿部 久一 (ニュー石巻)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県道238号釜谷大須雄勝線自動車通行不能区間に対する市の考えについて</li> </ol>
<p>⑨阿部 正春 (無党派)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害をもった方々の社会参加について</li> <li>2 障害福祉サービスから介護サービスへの移行について</li> <li>3 障害者雇用について</li> <li>4 障害者(児)歯科について</li> </ol>	



豊 議員  
原田

石巻あかつきの会



市立保育所の給食について

問 アンケート結果を基に完全給食の実施可否を伺う。

答 62%が導入に前向きで13%は導入に後ろ向きな回答を得た。実施に当たり運営面として、米の価格や質の不安もあり、丁寧な説明が必要となる。体制面では施設整備と人員体制の課題が重要となり、研究を行っていく。

国の機関の誘致について

問 高市内閣では防災庁を11月に、その後地方へ仮称・防災大学と2力所の防災拠点の機関を設置予定であるが、誘致に向けて手を挙げてほしい。意気込みを伺う。

答 防災庁の地方機関が大規模災害時の政府のバックアップ機能を確保するという観点から設置にさまざまな課題がある。本市としては、村井知事が方針を示す、県および仙台市の動向を注視し、東北全体の防災力向上につながるよう、県と必要な協力を行っていく。

スポーツを通じた交流人口の拡大について

問 東北楽天ゴールデンイーグルスファームの誘致は、本市にとってまさに千載一遇！この機を逃してはならない！

答 経済効果、交流人口は大きな波及効果が期待でき、地域のにぎわいの起爆剤となる、夢のある魅力的な動き。誘致に伴う論点を整理し、本市のスポーツ振興に新たな可能性をもたらす機会となることから多角的に検討すべき事項である。

問 誘致を行う上で、市民団体などからの署名活動などがあった場合の対応について伺う。

答 皆様からの署名は市民の希望だと思うので、それに向けて進めていく。



澄子 議員  
齋藤

無会派



問 学校や公共施設へトイレレットペーパー同様に生理用品を常備すべき。

答 生理用品ディスプレイ常設に係る衛生面、防犯面、費用面など含め研究していく。

問 女川原子力発電所について、他の原子力発電所での不祥事も報告される中、施政方針でなぜ触れなかったのか。

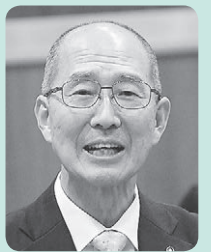
答 一連の不祥事は、原子力発電所の安全運営、地域の信頼を根底から揺るがす極めて重大な問題だ。本市としては、市民の安全安心の確保を優先に緊張感を持って原子力行政に取り組んでいる。

問 仙石線全区間ワンマン運転になることで、乗務員1人で乗客を守ることができるとの不安はなかったのか。

答 ささまざまな不安が伴うものであり、訓練などが重要だと認識している。車内防犯カメラの設置や非常通報装置の増設を行い、乗務員が指令室と連携しながら対応する体制を整えている。また、無人駅後、車椅子等補助が必要な乗客への対応は、事前予約を受けて対応するとJRから説明を受けている。

問 仙台塩釜港の特定利用港湾、防災拠点としての港湾機能のさらなる強化といった仕様であれば心配もないが、港湾整備を行った後、使用目的が変わることには困る。

答 大規模災害発生時、自衛隊・海上保安庁による緊急対応、効率的な住民避難が可能を取り組みや耐震強化岸壁の整備促進も踏まえた検討が重要。国、県に対し市民の不安が生じないよう、丁寧な説明を求める。



光弘 議員  
楯石

日高見会



ひとりひとりが多彩に煌めき共に歩み続けるためには（石巻市の将来像）

問 近年の世相、三だけ主義（今だけ、金だけ、自分だけ）の傾向が強まる中、本市では生活習慣病で亡くなる方が多いとのこと。大震災から15年、生きたくとも生きられなかった約4千名のかげがえのないひとりひとりに、申し訳が立たないのでは。脳血管疾患での全国を100とした場合の比を男女別で伺う。

答 男性が133・2%、女性が139・1%である。

問 私たちの祖先は一日に何万歩も歩き、走り、重い物を運ぶ生活、動くことが大前提の体の仕組み。動かなければ、脳など全ての器官の退化と老化が進む。子ども時代から体を動かすことをいとわれない習慣が大切。子どもの体力の現状と対策は。

答 体力の合計点では、男女とも県平均以下である。各学校の創意工夫、石巻専修大学との連携で放課後運動教室などを実践し、能力向上へ努力する。

問 高齢者のサロン活動や100歳体操の現状は。

答 どちらも年々増加傾向である。ワーキングリーダー研修会、サポーター養成講座で人材を確保する。

問 文化・スポーツでも市民参加型が理想。本市の一大イベント、石巻第九と復興マラソンの参加者における本市在住の割合は。

答 石巻第九では、楽団員が69名中5名で7%、合唱団は105名中78名で74・3%である。また、復興マラソンでは、メインであるハーフマラソンが1600名中1333名で8・2%、その他の4種目は合計1700名中394名で22・9%が参加者における本市在住の割合となっている。



山口 荘一郎  
議員

はやて  
石巻風の会



緊縮予算編成時代における持続可能な石巻市政について

**問** 県内では岩沼市と石巻市のみが、平成29年から市町村GDPが下がり続けている。石巻の景気の評価は。

**答** 主な要因は復興事業で増加した建設業の生産額減少であるが、震災前の平成22年度と令和4年度を比べると全体のGDPは39.1億円増加しており、水産加工業の回復、製造業の設備投資の進展で経済成長は実現できている。

**問** 株価好調で石巻市の事業者が設備投資や研究開発投資など事業拡大の向きはあるのか。

**答** 株価の影響は把握していないが、設備投資計画はあるものの、建設費や機械設備価格高騰の影響で実施に至っていない事業者もいる。

**問** 設備投資し、賃金改善を表明する事業者への固定資産税減免制度の実績は。

**答** 令和7年度は1件のみである。

**問** 企業のチャレンジを後押しするという目線が必要では。

**答** 企業側のニーズ把握や現場主義は大切だ。企業訪問などに加え、中間支援団体との情報交換で今のニーズ、課題を把握していく。

**問** 石巻広域クリーンセンターでの新ごみ焼却場建設費の高騰は大きな財政負担になる。施策の大半が▲や×となっている一般廃棄物処理基本計画の進捗管理を抜本的に強化し、ごみ焼却炉の必要容量の圧縮に努めべき。

**答** 施策実施の有無だけでなく、実施後の成果を評価する仕組みとなるよう検討していく。



阿部 正敏  
議員

はやて  
石巻風の会



東北楽天ゴールデンイーグルスファーム施設移転計画について

**問** 施設移転計画はどのように捉えているか伺う。

**答** 地域振興や野球を通じた交流人口の拡大に伴う経済波及効果が期待されるなど、非常に注目すべき動きと認識している。

**問** 施設計画の内部資料にはプランA、プランB、プランCがあり、より財政負担が少ないプランを選んで前向きに取り組んでいただきたい。

**答** 積極的に情報収集を行い、必要な検討を進めながら前向きに取り組んでいく。

石巻市立病院および市立診療所財務状況について

**問** 市公立病院経営強化プランの進捗状況について伺う。

**答** 初年度実績の点検・評価を「病院運営審議会」へ諮問し、経営指標に係る数値目標の一部が目標を下回るが、医療機能、医療の質、連携強化等は目標を上回る効果となり、計画どおりの評価を得ている。

**問** 離半島部における診療体制について伺う。

**答** 人口減少による診療者数の減少や施設等老朽化維持管理経費の増大等、診療所運営は厳しさを増しているが、離半島部における診療所の運営形態や医療提供の在り方等、地域の実情に応じた持続可能な医療提供の維持に努める。

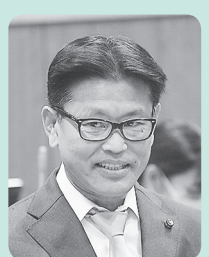
地区防災計画策定について

**問** 地区防災計画が進まない要因について伺う。

**答** 地域における高齢化、担い手不足等により地区防災計画策定には至っていない。

**問** 危機管理部だけでなく、市民生活部等と連携をとり、地域が抱える問題解決に一緒に取り組んでほしいかがか。

**答** 地域防災力向上だけでなく、防災を切り口に地域コミュニティの活性化にも寄与すると考えている。



勝又 和宣  
議員

石巻あかつきの会



宮城県宿泊税導入と石巻市観光戦略について

**問** 本市で発生する宿泊税の徴収規模をどの程度見込んでいるのか、配分される交付額を伺う。

**答** 徴収規模は、概算で4800万円、交付額は、観光資源の魅力増進向けに860万円、市町村提案型は補助上限額800万円での交付予定である。

低入札価格調査制度および総合評価落札方式について

**問** これまで予定価格5千万円以上の高額工事に適用されてきた低入札価格調査制度を、予定価格200万円を超える工事まで拡大した理由を伺う。

**答** 不落防止と価格帯に関わらず制度を一本化し、透明性を高め、公平・公正な入札執行と適正な価格での契約ができる。

**問** 設計図書や積算の精度が向上する環境の整備が必要だが見解を伺う。

**答** 設計図書や積算の精度向上に努めるとともに、積算など各種研修への積極的な参加を通じて、発注担当職員のスキルアップを図りながら、環境整備に取り組んでいく。

20年先を見据えたスクラップ・アンド・ビルドによる市政運営について

**問** スクラップ・アンド・ビルドを柱とした市政運営へ将来にわたり持続可能な行財政運営を実現するため、行財政改革への決意を伺う。

**答** 市民や事業者、議会の皆様の御理解を賜りながら、行政として担うべき役割や事業を再点検し、持続可能な規模へと財政基盤を立て直すとともに、強い覚悟と責任感を持って行財政改革に取り組んでいく。



丹野 清 議員

ニュー石巻



復興公営住宅の状況について

**問** 退去後から次の居住者が入居するまでの手順や期間について伺う。

**答** 入居者に現状回復いただいた上で、必要な清掃や修繕等を行うことから募集するため、通常6カ月程度の期間を要している。

**問** 復興公営住宅の今後の利活用について伺う。

**答** 「目的外使用」の承認を国から得ることで、復興公営住宅の一部をお試し移住の居住先やグループホームとして現在使用しているように、地域の実情に合わせて市営住宅を活用可能となることから、今後の応募倍率や空き住戸の推移、市民ニーズを注視しながら、関係部と協議していきたい。

民間保育について

**問** 石巻市乳児等通園支援事業について伺う。

**答** 現在、民間保育所等での実施に向け準備を進めており、関係事業者と連携し、安心して利用できる環境を整備するとともに、分かりやすい情報発信と丁寧な周知に努めていく。

健康づくりパークの利用・運用状況について

**問** 渡波地区の利用者からはパークゴルフ場で、国道側へボールが飛び出しそうになることから、フェンスを高くしてほしいという声が聞かれる。また、パークゴルフ場のカップの位置も変える事で利用されている方々の満足度も上がると考えるが、いかがか。

**答** 今後の状況等を見ながら、利用される方が楽しんでいただけるよう管理・運営に取り組んでいく。



我妻久美子 議員

はやて 石巻風の会



**問** 若い世代の移住定住、子育て支援について。現在成果の上がっている奨学金返還支援事業の拡大や、子どもを1人から2人、2人から3人と、もう1人産み育てやすい政策、そして人口減少対策戦略室の設置が必要と考えるが、今後について伺う。

**答** 政策によってまだ効果検証が必要なものもあり、見極めながら検討していく。ライフステージに応じた支援施策が分かりやすいように制度の周知に努める。また、奨学金返還支援事業については他市町の事例も見ながら、民間企業と連携した施策も検討していく。組織編成については、必要に応じて検討していきたい。

**問** 人口減少対策と企業誘致は表裏一体の関係だと考えるが、見解を伺う。

**答** 今後設備投資をし、労働生産性を上げる取り組みを行う企業が多数あるが、人手を確保できるかが立地に對して一番の課題である。奨学金返還支援事業、子育て支援事業などの政策のほか、ご家族や友達から地元を勧めてもらうなど、移住促進、流出抑制をし、企業の人手確保も補いたい。また、魅力ある企業に若者が集まることから、起爆剤になるような企業を誘致する視点も必要である。

免許返納後の移動支援について伺う。

**答** 公共交通利用促進のため、免許返納者へ路線バスのほか、住民バス、乗り合いタクシー、地区市民バスの割引助成券を発行している。案内チラシのほか、町内会や行政区の会議等の機会も活用して周知に努めた

い。



阿部 正春 議員

無党派



障害を持った方々の社会参加について

**問** 毎年行われている復興マラソンに障害者部門など募集の工夫をしていただき、健常者の方と同じように活躍する場を作ることが石巻のノーマライゼーションの理念に則すると思うが見解を伺う。

**答** 障害の有無に関わらずスポーツに親しみ、マラソン大会に参加できる環境を得ることは重要である。実行委員会、障害者スポーツ関係団体と連携、誰もが参加できる大会運営を目指していく。

障害福祉サービスから介護サービスへの移行について

**問** 障害福祉サービスを受けている人が65歳になると介護保険サービスに移行し、介護認定を受けるが、移行に伴い福祉施設に留まる事はできず、受け皿もはつきりしない。なお、所得に応じて負担が0円から3割の負担が発生、サービスも支援の形態が変わることから、支援も減少する恐れもあり、必要な支援を受けられるようにしていただきたい。

**答** 介護施設が障害者を受け入れる事ができるよう、障害福祉の経験を持つ職員の配置、職員の育成、高齢者施設など既存の地域資源を最大活用できる方策について研究していく。

障害者（児）歯科について

**問** 利用状況について伺う。

**答** 令和5年度は延べ713人、1日平均19・9人、今年度は今年2月末時点で延べ844人、1日平均25・6人と直近3年間で年々増加傾向となっている。

**問** 診療日、診療時間を増やすことはできないか伺う。

**答** 歯科医師会および関係自治体との連携を密に、適切な事業の実施に努めていく。



鈴木 良広  
議員

公明会



中心市街地活性化策について

**問** 中心市街地を活性化させるための課題は多い。テーマを絞って戦略を打ち出すことが重要と考える。それがイベントの充実なのか、空き店舗の対策なのか、集中的に取り組むべき課題について伺う。

**答** イベント開催によるにぎわい創出に期待しているところであるが、はじめに取り組むべき課題は空き地や空き店舗の解消を含めた「目的地の増加」であると考えている。より多くの空き地、空き店舗を活用した新規出店や居場所づくりのサポートを実施し、多くのにぎわいが生まれ居心地がよく、歩きたくなるまちを目指していく。

がん対策について

**問** 脾臓がんなどのように初期症状がほとんどない場合、気づいた時にはがんが進行しているケースが多いのが現状である。広島県尾道市では、早期発見につなげるために「尾道方式」と呼ばれる取り組みを行っている。これにより早期発見率が向上し、5年生存率が全国平均の2倍以上に上がっている。本市でも先進事例を研究し、制度化に向けた検討を早急に進めるべきと考えるが、所見を伺う。

**答** 地域内での医療連携によるがん検診・フォロー体制の構築については、早期発見・早期治療に加え、患者の予後改善にも効果があり、必要なものと認識している。議員からの提案も踏まえ、今後も地元医師会との連携を密に、検診実施体制の構築に努めていく。



高橋 憲悦  
議員

石巻市民クラブ



少子化・高齢化社会、人口減少を見据えた持続可能なまちづくりについて

**問** 財政調整基金が令和10年度末には11億5千万円（目安の半分）になることについて。

**答** 基金確保のためには「時にはやめるという引き算の視点を持つ」ことが重要である。

**問** 市民生活の根幹となる「扶助費」の見直しは。

**答** 増加していくことになり、施設の廃止など、改革により必要なサービスを維持したい。

**問** 「人件費」の見直しは。

**答** 減少傾向にあるものの「職員定員適正化計画」以上の削減は、既存事業の廃止や整理と一体としなければならないと考えている。

**問** 新図書館の早期建設について。

**答** 一日でも早く建設したいという思いはあるが、各種計画に基づきながら建設を目指したい。

**問** 少子・高齢化、人口減少社会への認識は。

**答** 時代の潮流を的確に捉え、将来を見据えた判断を重ねていくことが重要である。

**問** 市財政を「市民の家計簿」として分かりやすく説明することについて。

**答** 昨年の市報12月号で決算を家計簿となぞり掲載したが、今後もその充実を検討する。

**問** 将来像への最優先事項について。

**答** 「ふるさと石巻」を確かな未来へつないでいくためには、「自助・共助・公助」の役割分担を基本に、行政と市民が互いに知恵を出し合い、語り合い理解を深めることが重要である。



櫻田 誠子  
議員

公明会



防災・減災について

**問** 震災から15年。震災伝承のため、語り部の育成が重要。県は来年度「次世代の伝承育成」を補助対象メニューにする。活用すべき。

**答** 震災の記憶と教訓を伝え続け「未来の命を守る」ことが本市の使命。伝承団体へ情報提供と活用を促す。

**問** 震災を知らない世代が増えており、震災遺構に小学校で一回ずつ訪問し、語り部の話を聞くことが必要。大川小学校の津波高、説明板の設置の要望がある。

**答** 遺構訪問の重要性は学校長も認識し、実施の学校もある。今後、全ての学校に広げつつ、効果的な活用の在り方を検討する。時間の経過とともに遺構を取り巻く考えが変化している。関係者よりよい形で公開できるよう協議を行う。

**問** 施政方針で教育旅行の積極的推進を挙げた。旅行者等と意見交換し、体験と合わせたプランなど研究すべき。

**答** 旅行者から学びの場の提供だけではプラン構築が難しいとの意見があり、今後も関係機関と連携して取り組む。

**問** 遺構来訪者の避難は早めの避難が重要。

**答** 災害発生時初動対応は指定管理者が行うため、マニュアルを把握し、相互にフォローし合える体制を整える。

**問** ペット同行避難の理解促進のため、地域防災連絡会で話し合いが必要。

**答** 会議の場等を活用し、理解に努めたい。

ひとり親支援

**問** 民法が改正され、養育費の取り決めに関する公正証書の作成費用等を支援する自治体がある。

**答** 県内自治体の実施状況、効果等を注視し、今後の対応を研究する。



星 雅俊 議員

日高見会



定 (仮称) 河南東保育園の民間誘致事業者の選

令和6年2月の民間保育所誘致事業者再公募の「選定委員会」が参考とした、応募事業者の税理士経営診断結果や保護者等の評価点を伺う。

経営診断結果は回答できない。評価点は、51.5点(標準点57点)である。

経営診断結果は、市公文書開示請求で取得済み。5段階評価で最低評価の結果であった。また、民間事業所誘致事業と同時に進めた、同地区既存子ども園設置事業は、国・県補助対象で定員14名増加。令和5年2月策定「市公立幼稚園・保育所・こども園再編計画」との整合性や14名増の需要根拠の県への市意見協議書の内容を伺う。また、令和6年10月1日には、民間事業誘致を中止し、公立化に戻した理由を伺う。

県との協議書では、1号認定(幼稚園)12名増は、近隣に幼稚園等はなく、保護者利便性を考え特に意見はなし。2名増は、年度途中の待機児童が見込まれるため。公立化に戻した理由は、再編計画(令和5年2月)時と比較し出生数、人口減少の理由と他事業者ヒアリングから、採算困難地域と判断したため。

大津波避難対策

避難対策で公共・民間施設使用でも避難施設が不足する場合、地区住民の避難施設や駐車場の増設は誰が主体となり、どんな手法をとるのか伺う。

津波避難緊急事業計画を策定し、国の財政支援を踏まえ本市が整備手法を検討する。



宇都宮弘和 議員

はやて 石巻颯の会



東日本大震災から15年 本市の防災の取り組みと方向性について

石巻南浜津波復興祈念公園の開園から5年を経て初めて計画される、本公園の管理運営計画の内容を伺う。

持続可能で適切な公園管理を実現するために策定し、公園の将来像を達成するための計画である。

防災教育旅行の「体験的・実践的内容」について伺う。

防災グッズ作りや段ボールベッドの組み立て体験、防災リュックの中身を考える企画などを提供している。

「語り部」活動の存続に向けて何らかの対策を行うていく必要があるのでは。

個別的な支援は難しいが、震災遺構における語り部のあっせんなど、活動の場を提供する。

石巻市民への防災情報の伝達方法を伺う。

防災行政無線、LINE、メール、電話、FAX、防災行政無線テレフォンサービス、また令和8年度に防災行政無線の放送内容を配信する「スマートフォンアプリ」を導入予定。

グリーンスローモビリティ事業について伺う。

費用対効果、事業の必要性および有効性の観点から令和7年度で事業を終了する。

「通過される街」から「何度も関わりたくなる石巻」へ向けて

石巻市のファンを増やすための取り組みについて伺う。

「いしのまき応援サポーター」や「石巻エリアファンクラブ」の運営に取り組んでいる。また、これからは、SNSを通じた石巻ファンの増加につなげていく。



谷 祐輔 議員

はやて 石巻颯の会



視覚障害を持つ方の支援体制について

同行援護を市はどう認識しているのか。

視覚障害のある方が外出先で直面する障壁を取り除く重要なサービスであり、社会参加を支える支援である。

石巻圏域における同行援護の体制は不十分ではないか。

現状の圏域1事業所での体制は十分ではなく、ニーズに対応できていない部分がある。

今後どのように改善を進めるのか。

利用につながっていない要因を探り、関係機関と協議し、早急に体制整備を進める。

AI活用を未来戦略へ

本市はAI活用をどう位置付けるのか。

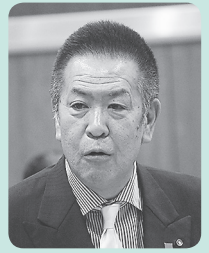
生成AIは将来的に「行政機能を維持するための不可欠なインフラ」と考えている。

AI活用は市民にどう役立つのか。

庁内の業務効率化を通じて、市民と向き合う時間を確保できる「余白」を生み出す技術である。

本市のように中小・小規模事業者が多い地域では、大規模な設備投資が難しい中でも、AI活用は生産性向上につながる「頭脳設備投資」として有効ではないか。市内事業者にもその知見やノウハウを広げていく考えはあるのか。

生成AIなどのデジタル技術は、人手不足対応にとどまらず、新たな付加価値の創出や本市の持続可能性にも関わる重要な要素であり、官民連携も含め「石巻の未来」につながるテーマとして検討する。



阿部 浩章  
議員

ニュー石巻



安心して誇れる「生業」の構築・活性化（地域循環型経済の構築に向けた考え方、方向性について）

**問** 市民所得流入等の地域循環経済分析に対し、どのような認識、必要性を持ち、この間、先進事例等の研究をしているか伺う。

**答** この分析は、付加価値や所得が生産、分配、支出の各段階で、地域内外循環を可視化して把握するため、将来の産業振興施策検討の有効な手法の一つと認識している。しかし、データ分析・解釈に専門的知識や技術が必要であり、現在、具体的研究状況を示せる段階ではないが、把握に努めている。

**問** 地域経済循環について、復興庁事例集に『石巻つまりもの株式会社』が紹介されているが、同社を把握、リサーチしているか。また、同様のクラスタ形成の可能性ある他のケースを調査しているか。

**答** 地域経済循環を牽引する企業と認識している。クラスタ形成の可能性調査は未実施だが、その動向を注視するとともに、可能な範囲で支援していきたい。

**問** REASASの活用には、専門的知識や技術が必要という点であるが、昨年第2回定例会一般質問でも提言したように、経済に明るい専門家等による分析をすべきと考えるがいかがか。

**答** 地域経済の構造、傾向を的確に把握することは、今後の産業政策を検討する上で重要であり、専門的知見を有する大学等との連携による分析の精度を高めることは一定の意義がある。



阿部 久一  
議員

ニュー石巻



「県道238号尾ノ崎ノ名振間の自動車通行不能区間に対する市の考え方」について

**問** 「早期実現は難しい」という県の回答をそのまま受け入れるのではなく、事業化に向けた工程表の提示を求めべきでないか。

**答** 県に対し事業化に向けた工程表を含め、要望している。

**問** 財源の課題で、何がボトルネックになっているのか。

**答** 当該箇所は急峻な地形のため、大規模事業となることが予想されるなど、投資効果等を総合的に勘案して、優先順位を付けながら事業を実施している。

**問** 市として独自に、調査・試算を行う考えはあるのか。

**答** 市独自に調査、試算を実施するためには市の一般財源で賄うこととなり、財政状況が逼迫していることを鑑みると、道路管理者である県がすべきものと考ええる。

**問** 国には社会資本整備総合交付金などがあるが、道路整備に活用できないのか。

**答** 県事業における交付金制度、補助制度の活用については、「宮城の道づくり基本計画」に位置付けられた場合に、各種交付金制度や補助制度の活用を検討する。

**問** 市長自身が正式な要望書を県に提出する意思があるのか。

**答** 沿線の地区会長を構成員とする「石巻市雄勝町国県道整備促進期成同盟会」と連携して粘り強く要望していく。

## 陳 情

審査結果



### ■陳情第1号 視覚障害者の日常生活上の補助用品の入手に係る公的支援に関する要望書

(提出者) 石巻視覚障害者福祉協会 会長 立身 憲一  
 特定非営利活動法人 一步を楽しむ石巻 代表理事 若山 崇  
 みやぎ盲ろう児・者友の会 会長 小山 賢一  
 石巻点字勉強会 会長 山本 美智子  
 公益財団法人 宮城県視覚障害者福祉協会 理事長 宇和野 康弘

(審査結果) 2月6日の議会運営委員会で協議し、保健福祉委員会に付託することで決定しました。このため、3月5日の保健福祉委員会および3月19日の本会議で審査が行われ採択されたことにより、要望実現に係る措置を求めるため、市長宛てに送付しました。

### ■陳情第2号 系統用蓄電池設置事業に関する反対陳情書

(提出者) 石巻市裏沢田行政区 区長 浅野 弘司

(審査結果) 2月6日の議会運営委員会で協議し、全議員へ参考回付することで決定しました。

## 議会案第1号 12番佐藤雄一議員に対する問責決議

提出者：千葉正幸議員

佐藤雄一議員に対し、その政治的責任を厳格に問い、猛省を促すため、本会議の決議をもって次のとおり問責する。

令和8年1月4日、前谷地地区で発生した2名の尊い命が失われた住宅火災の現場において、消防団員として出動していた佐藤雄一議員は、消火および救助活動が緊迫する規制線内という極めて厳粛な場にありながら、公務とは無関係な写真撮影を試みた。この行為は、自らの命を顧みず職務に邁進する他の消防団員の士気を著しく低下させ、市民感情を激しく逆なでする不謹慎極まりない行動である。

その後の調査によれば、同議員の動機は「普段の議員活動や食事の記録の延長」という極めて軽薄なものであり、他の団員が懸命に消火活動に当たる中で「手持ち無沙汰であった」から撮影しようとしたなど、職務に対する誠実さを感じさせないものである。さらに、過去の出動時においても同様の撮影行為が常態化しており、林野火災の写真をSNSへ投稿するなど、現場の緊張感や被害者の心情に対する配慮、さらには規制線内における自らの立場への自覚が決定的に欠落していたことが判明した。

注意を受けなければ撮影を継続していたと釈明し、自らの行為が政治倫理条例に抵触するか否かの判断すら「自分では分からない」と議会に委ねるその無責任な態度は、公人としての倫理観を疑わざるを得ず、社会通念上、断じて容認できるものではない。

また、本件により消防団長から綱紀肅正の通達が出される事態を招いたことは、地域防災の要である消防団への信頼を著しく毀損させただけでなく、市議会議員に対する市民の不信感を決定的なものとした。これは、石巻市議会議員政治倫理条例第4条第1項第1号に規定する「市民全体の奉仕者として、その品位と名誉を害するような一切の行動」に該当するといえよう。

議員は「市民全体の代表者」であり、いかなる場においても高い倫理基準に基づいた行動が求められる。本件を看過することは、政治倫理条例の精神を根底から覆すことに等しく、議会自らがその規律を正す責務がある。

よって石巻市議会は、佐藤雄一議員の不適切な行動に対し厳重に抗議し、その政治的責任を明確にするため、ここに本決議を付するものである。

### 【討論の概要】

反対討論：星雅俊議員

- ・議長から調査を依頼された広報広聴委員会の場で本人から反省の弁があり、マスコミにも幾度となく掲載されており、社会的な制裁は十分受けている。
- ・政治倫理に関する調査は議員本人の権利に関することでもあり、恣意的にならないよう慎重に扱うべきである。

## 起立採決

議席番号	氏名	賛否
1	原田 豊	○
2	勝又 和宣	○
3	木村 美輝	○
4	我妻 久美子	○
5	谷 祐輔	○
6	阿部 正春	○
7	早川 俊弘	○
8	千葉 正幸	○
9	阿部 浩章	○
10	遠藤 宏昭	-
11	鈴木 良広	○
12	佐藤 雄一	退
13	楯石 光弘	×
14	都甲 マリ子	○
15	宇都宮 弘和	○
16	山口 莊一郎	○
17	高橋 憲悦	○
18	齋藤 澄子	○
19	奥山 浩幸	○
20	安倍 太郎	○
21	丹野 清	○
22	阿部 久一	○
23	櫻田 誠子	○
24	渡辺 拓朗	○
25	星 雅俊	×
26	阿部 和芳	○
27	阿部 正敏	○
28	西條 正昭	○
29	後藤 兼位	○
30	大森 秀一	○
賛成		26
反対		2

※○：賛成 ×：反対 退：退席  
 ※遠藤宏昭議長は採決に加わりません。  
 ※佐藤雄一議員は当事者のため退席となり、採決に加わりません。

## 第1回臨時会で可決した議案と審議結果（令和8年1月28日開催）

衆議院の解散に伴う2月8日執行の衆議院議員総選挙および最高裁判所裁判官国民審査に要する経費に関する専決補正予算、政府の「『強い経済』を実現する総合経済対策」に基づき、物価高騰の影響を受けている市民の生活や事業者の支援に要する経費に関する補正予算が審議されました。

### その他（承認）

- ・専決処分報告並びにその承認を求めることについて（訴えの提起について）（和解及び損害賠償額の決定について）（令和7年度石巻市一般会計補正予算（専決第1号））

### 予算（原案可決）

- ・令和7年度石巻市一般会計補正予算（第6号）

# 令和8年 議会の動き

## ≪ 1月 ≫

- 14日 日高見会・無会派(齋藤澄子議員)行政視察  
(~16日)
- 20日 産業建設委員会意見交換会  
石巻市民クラブ・阿部正春議員行政視察  
(~23日)
- 21日 青森県黒石市議会行政視察来石  
岩手県矢巾町議会行政視察来石
- 23日 石巻を考える女性の会との懇談会
- 26日 石巻市議会議員研修会
- 28日 議会運営委員会  
第1回臨時会本会議(開会、議案審議、閉会)  
岩手県遠野市議会行政視察来石
- 29日 東京都武蔵村山市議会行政視察来石

## ≪ 2月 ≫

- 3日 保健福祉委員会懇談会
- 6日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 10日 本会議(開会、施政方針演説)、全員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 20日 本会議(施政方針に対する質疑)

- 25日 本会議(施政方針に対する質疑)  
議会改革推進会議
- 26日 本会議(条例案等審議)、広報広聴委員会
- 27日 本会議(当初予算案審議(令和8年度予算))

## ≪ 3月 ≫

- 2日 本会議(追加議案審議(令和7年度補正予算等))、  
広報広聴委員会
- 3日 総務企画委員会
- 4日 環境教育委員会
- 5日 保健福祉委員会
- 6日 産業建設委員会
- 9日 議会運営委員会、広報広聴委員会
- 11日 東日本大震災追悼式
- 12日 本会議(一般質問)、総合防災対策特別委員会  
地域交通対策特別委員会、少子化対策特別委員会
- 13日 本会議(一般質問)
- 17日 本会議(一般質問)
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問、委員長報告、追加議案審議、閉  
会)、議会運営委員会

## 議会トピックス

### 石巻市議会議員と 石巻を考える女性の会との懇談会



令和8年1月23日、「石巻を考える女性の会」の皆さんと「防災の取り組みについて」、「前回のテーマ(空き家対策・自治会の高齢化)の発展状況について」「人口減少対策と税収減少について」をテーマに懇談会を開催しました。

懇談会は今回で12回目の開催を迎えました。さまざまな地域課題について、活発な意見が交わされました。

### 議員研修会「選挙運動・政治活動(特に 選挙期間中のSNSの使用上の注意事項)」



令和8年1月26日、各自治体で、例規支援、議員・職員に対する研修等を行っている株式会社廣瀬行政研究所の太田雅幸弁護士を講師に招き、「選挙運動・政治活動(特に選挙期間中のSNSの使用上の注意事項)」をテーマに議員研修会を開催しました。

政治活動に対する制限や選挙事務所の運営、インターネットを利用した選挙運動について理解を深めました。

## 議会を傍聴してみませんか？

本会議および委員会は、原則として公開しており、どなたでも傍聴できます。

特に本会議は、皆さんの生活に深く関わる議案を審議し、議会の最終的意思を決定する重要な会議です。議員の発言や市長の考えを直接見聞きできる貴重な機会ですので、ぜひ傍聴にお越しください。

会議の日程は、いしのまき市議会だよりやホームページをご確認ください。

### ●受付場所

市役所6階 議会事務局

### ●受付方法

受付で議会傍聴受付票に氏名および住所の記入をお願いします。

議会傍聴証の交付後に傍聴席に入場できます。

※団体での傍聴を希望される場合は、事前に議会事務局までご連絡ください。(☎0225-95-5080)。

## 本会議・常任委員会を動画で配信しています



市議会ホームページから

『市議会YouTube配信(ライブ中継・録画映像)』  
をぜひご視聴ください

本紙面の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問や委員会審査の映像をご覧いただくことができます。

### 次回(令和8年6・7月)定例会議(予定)

日	月	火	水	木	金	土
	6/1	6/2	6/3	6/4	6/5	6/6
6/7	6/8	6/9	6/10	6/11	6/12	6/13
6/14	6/15	6/16	6/17 13:00 開会 提案理由説明	6/18 10:00 本会議 議案審議	6/19	6/20
6/21	6/22 9:00 総務企画委員会 13:30 環境教育委員会	6/23 9:00 保健福祉委員会 13:30 産業建設委員会	6/24	6/25	6/26 10:00 本会議 一般質問	6/27
6/28	6/29	6/30 10:00 本会議 一般質問	7/1 10:00 本会議 一般質問	7/2 10:00 本会議 一般質問	7/3 10:00 本会議 一般質問 追加議案審議 閉会	7/4

※開会時間・日程は変更となる場合があります。

### 議会の内容を知る

本会議の様子はインターネット(YouTube)で、生中継やこれまでの録画配信をご覧になれます。



YouTube 石巻市議会チャンネル

本会議や委員会などの会議録は、市ホームページや図書館、議会図書室でご覧になれます。



会議録の検索・閲覧

■第4回定例会ライブ中継の視聴回数 2,974回 (令和8年2月10日～3月19日)  
■YouTube録画中継の視聴回数 5,810回 (令和8年1月～3月末)



### 編集後記

令和8年第1回定例会が2月10日から3月19日までの38日間開会され、齋藤市長から施政方針、令和8年度当初予算案等が提出されました。

昨年11月に示された予算編成方針では「財政基盤の強化」と「事業の推進」の両立を基本方針とし、一般財源ベースで前年度比10%以上削減の要求があり、厳しい財政状況下での歳出抑制と行財政改革に取り組むとのことでした。

今回上程された令和8年予算書に対し、審議では多くの質疑が交わされ、各事業で予算改善が見受けられたものの、社会保障経費の増加のほか、これまでにない物価高騰の影響、新給食センター建設事業などの投資的な支出の影響もあり、対前年度比5.9%、45.1億円増の812.3億円の財政規模となり議決されました。

また、家計で言う預貯金にあたる本市の財政調整基金は現時点で41.6億円であり、今後3年間で約30.1億円が減少し11.5億円となる危機的な試算がされており、議員一同、将来に何を残すべきかを見据え、支出抑制への意識を一層高めて責任ある議論に努めてまいります。

広報広聴委員会 委員 原田 豊

DATA 市総人口：129,257人【男：62,822人/女：66,435人/世帯数：62,431世帯(令和8年3月末日現在)】